

# 8月定例教育委員会会議録

開催年月日	令和6年8月26日(月)
開催日時	午後3時00分
開催場所	別館3階大会議室
出席委員	教育長 江嶋 久典 職務代理者 木下 靖郎 委員 諫本 憲司 委員 古田 嘉寿美 委員 荒川 富士子 委員 佐々木 美德
出席参与	教育次長 瀬口 英隆 教育総務課長 伊藤 恭子 学校教育課長 阿部 一徳 社会教育課長 信岡 謙介 博物館長 長澤 正之 兼大山文化センター長 淡窓図書館長 川邊 好美 文化財保護課長 片桐 由美 咸宜園教育研究センター長 吉田 博嗣 スポーツ振興課長 古城 智浩 兼世界遺産推進室長 学校給食課長 本川 明 人権・部落差別解消教育課長 杉野淳太郎
書記	教育総務課 総務企画係 主幹(総括) 渡辺 寛幸
附議議案	議案第43号 日田市井上家文化教育振興会奨学金に関する条例の 制定について 議案第44号 令和6年度日田市一般会計補正予算教育費及び災害 復旧費について 議案第45号 教育に関する事務の管理及び執行の状況についての 点検及び評価報告書について 議案第46号 日田市スクールバスの管理及び運行に関する規則の 一部改正について 協議事項 表彰選考審査会委員の推薦について 報告第14号 令和6年7月期寄附採納について 報告第15号 令和6年度全国学力・学習状況調査結果について 報告第16号 令和6年度大分県学力定着状況調査結果について

<p>教 育 長</p>	<p>ただいまから8月定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>初めに、7月定例教育委員会の議事録の確認でございますが、変更はありませんか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>ご了解いただけましたら、本会議終了後に署名をお願いいたします。</p> <p>続きまして、教育長の一般報告につきましては、お手元に配付しております資料により報告とさせていただきます。</p> <p>それでは、早速議事に入りたいと思います。議案第43号について説明をお願いします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>議案第43号 日田市井上家文化教育振興会奨学金に関する条例の制定についてでございます。</p> <p>本案は、一般財団法人井上家文化教育振興会からの寄附金を財源として、奨学金を給付するにあたり、所要の事項を定めるものでございます。</p> <p>7ページをお願いいたします。今回、ご寄附をいただきます一般財団法人井上家文化教育振興会の概要について記載をさせていただきます。</p> <p>これまで、日田市の教職員及び児童生徒の教育環境を充実させることを目的として、様々なご寄附をいただいておりますが、返還を伴わない給付型で、入学に係る経費を支援する奨学金制度の運営のため、今年度から毎年度140万円のご寄附をいただくことが法人の理事会において決定されたものでございます。</p> <p>なお、今回の給付型奨学金制度の創設に当たりましては、給付額及び奨学生の選考について、本市の現行の貸与型奨学金制度に準じていただきたいとのご意向をお伺いしているところでございます。</p> <p>3、条例制定の主な内容でございます。</p> <p>第1条には条例の目的を、第2条には文言の定義を定めております。</p> <p>8ページをお願いいたします。第3条に奨学金の給付対象者を規定しております。表右側の欄に条文の概要を示しておりますが、そこに記載の(1)から(6)までの要件すべてを満たす方が対象者となります。この要件につきましては、(1)から(5)までは現行の貸与型奨学金の対象者の要件と同様でございます。</p> <p>(6)につきましては、貸与型奨学金と給付型奨学金を重複して支給しないための要件となっております。</p> <p>補足をいたしますと、貸与型、給付型の両方にお申し込みいただくことは可能ですが、支給につきましてはどちらか一方という</p>

ことで、要件を設けさせていただいております。

第4条には奨学金の給付額等を規定しております。給付額は、高等学校又は高等専門学校に入学する方が10万円、専修学校又は大学に入学する方が20万円でございます。こちらも現行の貸与型奨学金の入学準備金と区分、金額ともに同様でございます。

第6条には奨学金の決定と取消しの要件を規定しております。

第8条と第9条には、奨学金廃止と廃止した場合の返還について規定しております。今回の奨学金は、入学に係る経費を支給することが目的でございますので、入学を取り止めた場合には、奨学金の給付も廃止となります。その際に、すでに奨学金を給付済みである場合には、返還をお願いすることになります。

9ページをお願いいたします。

給付型奨学金の条例制定にあたりまして、他の二つの条例についても改正が必要となりますことから、その内容を附則で規定しております。

まず、(1)の日田市奨学資金に関する条例の改正でございます。

日田市奨学資金に関する条例において、奨学生を選考するための「日田市奨学資金運営委員会」を規定しておりますが、委員会の審査内容に、本条例で定める給付型奨学金の奨学生を選考することを追加するものでございます。

具体的な改正内容につきましては、議案集3ページの中ほどから記載しております。附則第2項の下の表でございます。

左側の改正後の欄の第5条にあります下線部分を追加しようとするものでございます。

議案集の4ページをお願いいたします。

附則第3項でございますが、こちらはマイナンバーを利用した事務に関する手続きを定めた「日田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例」の一部改正でございます。

改正後の表中太い黒枠で囲まれた部分を追加するもので、番号法に規定された法定事務以外の事務で、個人番号を利用する、いわゆる独自利用事務について定めた同条例の別表第1に「11の2」として、給付型奨学金の給付に関する事務を追加しようとするものでございます。

また、他機関への特定個人情報の提供について定めた同条例の別表「第5の2」として、給付型奨学金の給付に関する事務を追加しようとするものでございます。

議案書の9ページをお願いいたします。

	<p>施行の時期につきましては、公布の日からとするものでございます。</p> <p>最後に、本条例が制定し、施行されました後の奨学金の給付までのスケジュールを「5」に記載しております。</p> <p>本年12月から令和7年1月末まで奨学生の募集を行い、令和7年2月に開催予定の日田市奨学資金運営委員会で奨学生を決定します。その後、3月に奨学金を給付する予定で、現行の貸与型奨学金の入学準備金の給付と同じスケジュールとなります。</p> <p>議案第43号につきましては、以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ただいま説明のありました議案第43号につきまして、ご質疑等はございませんでしょうか。</p>
諫 本 委 員	<p>入学準備金の給付型ということですが、新規で奨学金を希望する方は、井上家と日田市と両方に申請をして、それを奨学資金運営委員会で審査するということになるのでしょうか。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>その場合は、給付型を優先して支給することになるかと思えます。ご本人が貸与を優先して希望することはないと思えますので、給付型と貸与型の両方に申請された方については、給付型を優先して決定し、給付型の対象とならなかった方が貸与型入学金の対象として支給させていただくことを考えております。</p>
諫 本 委 員	<p>日田市の奨学金の総額が今までと変わらなければ、井上家の分が増額して、入学準備金の対象者が増えるということによろしいですか。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>井上家の財団からもなるべく広く支給をしていただきたいというお声がありましたので、そのような形を考えております。</p>
木 下 委 員	<p>8ページの「奨学金の廃止」の欄に、「(3)教育委員会が奨学金の給付を廃止することが適当と認めるとき」とありますけれども、具体的にはどのようなことなのか教えていただきたいと思えます。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>あまりないことだと考えておりますけれども、第3条で給付対象者を規定しておりますが、これに該当しないということが後になって分かったという場合などが当たると考えております。</p> <p>例えば、保護者が市税を完納していることが給付対象者の条件</p>

	<p>となっておりますが、後になって実際には滞納があったことが判明し、申請者が虚偽の申請を行っていたことが分かったなど、そういったケースが想定されると考えております。</p>
古 田 委 員	<p>給付型の奨学金は、奨学生にとってものすごくありがたいことだと思うので、今までよりも幅広く紹介していくことになるのでしょうか。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>貸与型の奨学金に関してもホームページや広報で周知しておりますが、例えば、学校に直接、新しく創設された給付型奨学金をお知らせすることも周知の一つと考えております。</p>
教 育 長	<p>それでは、議案第43号につきまして原案の通り可決してよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>議案第43号 日田市井上家文化教育振興会奨学金に関する条例の制定については、原案の通り可決されました。</p> <p>続きまして、議案第44号について説明をお願いします。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>議案書10ページをお願いいたします。</p> <p>議案第44号 令和6年度日田市一般会計補正予算教育費及び災害復旧費についてでございます。別にお配りしている別冊1により、内容のご説明をさせていただきます。</p> <p>今回の補正は、6月補正後教育費予算の総額40億8,587万5,000円に332万2,000円を追加し、補正後の総額を40億8,919万7,000円とし、あわせて災害復旧費として193万1,000円を追加するものでございます。</p> <p>事業ごとの補正予算の概要につきましては、各担当課からご説明させていただきます。</p> <p>初めに、教育総務課でございます。</p> <p>別冊1の資料1ページをお願いいたします。</p> <p>No.1 井上家文化教育振興会奨学金給付事業でございます。先ほど議案第43号で説明させていただきました条例制定に伴う新規事業となります。</p> <p>詳細につきましては、先ほどの条例制定の説明と重複いたしますので割愛させていただきます。補正要求額は140万円で、全額井上家文化教育振興会からの寄附金を財源とするものでございます。</p> <p>なお、給付額及び対象者数につきまして、補正の概要の中ほどに記載しておりますが、高校等への入学者が10万円、大学等へ</p>

<p>文化財保護課長</p>	<p>の入学者が20万円の給付額で、10万円の給付対象者を4人、20万円の給付対象者を5人で想定しております。ただし、その下の2番目の「※」に記載しておりますとおり、対象人数はその年度の申込状況に応じて、総額140万円の枠内で変動可能とするものでございます。</p> <p>次に、No.2小学校施設整備推進事業でございます。</p> <p>学校施設におきましては、長寿命化改良事業や大規模改修事業と合わせて、段差解消やエレベーターの設置などのバリアフリー化を進めているところでございますが、整備までには相当な時間が必要となります。</p> <p>これまで、エレベーター未設置の学校において、けがなどにより急遽移動への対応を行う必要が生じた際には、教職員が抱えるなどの人的な対応を行ってきたところでございますが、今回、児童生徒の安全な移動に対応するため、階段昇降車とそれに備え付ける車椅子の購入経費について、192万2,000円の増額補正を要求するものでございます。</p> <p>資料の2ページをお願いいたします。</p> <p>階段昇降車の概要が分かる資料を付けております。下の段の左側にあります写真が階段昇降車の本体になります。真ん中の絵にありますように、本体に車椅子を載せて段差を移動する形になります。右側の下に、大きさや重量などの仕様を掲載しております。本体重量は115kgとなっておりますが、階段はバッテリー駆動で走行しますので、箱型の軽貨物車両などであれば、本体を積載して輸送することも可能です。</p> <p>この階段昇降車と備え付けの車椅子をそれぞれ1台購入することで、エレベーターの設置がない学校において、移動の支援が必要になった際に活用できるものと考えております。</p> <p>財源につきましては、すべて一般財源でございます。</p> <p>私からは以上でございます。</p> <p>資料の3ページをお願いいたします。</p> <p>公共文教施設災害復旧事業で、新規事業でございます。補正要求額は、193万1,000円でございます。</p> <p>事業概要ですが、7月1日からの大雨により、市ノ瀬町から伏木町にかけてあります大分県指定史跡石坂石畳道におきまして、洗掘により2箇所石積が崩れ、路肩が崩落した他9箇所土砂流入や落石、倒木が発生したため、土砂や落石、倒木などの支障物の撤去工事及び石積路肩の復旧工事の費用について、予算要求を行うものでございます。</p>
----------------	---

	<p>4ページ及び5ページをご覧ください。4ページに被害箇所の位置図を付けております。</p> <p>道の始点は手前の方で、⑪の下が市ノ瀬地区になり、上の方が伏木公園の近くで、その辺りが終点になります。延長1,260m、道幅2mの道でございます。</p> <p>大雨により路肩が洗掘した場所には丸をしておりますが、①と②については、5ページに写真を付けております。大雨で道が洗掘されております。その他、倒木や落石箇所に③から⑪の番号を振っております。5ページには、⑧番の落石の状況、⑩番には土砂流入や倒木の様子を載せております。</p> <p>3ページに戻っていただき、事業スケジュールは記載のとおりです。</p> <p>補正内訳としましては、工事請負費が193万1,000円、財源内訳は繰入金と地方債になります。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ただいま説明のありました議案第44号につきまして、ご質疑等お受けしたいと思っておりますが、初めに教育総務課の補正からお願いいたします。</p> <p>何かご質問等がございませんでしょうか。</p>
諫 本 委 員	<p>No.2小学校施設整備推進事業です。学校の施設整備には相当の期間が必要で、何箇所もあるということですが、学校に今年度1台入れて、来年度以降も購入したいということでしょうか。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>補正概要に記載しております「相当な期間」というのは、工事には最低でも2、3年はかかってしまうということでございます。現在、エレベーターのない学校は、全部で12校ございます。そのうち6校は2階建てで、残りの6校は3階建てでございます。</p> <p>その12校にも順次エレベーターの設置を行っていく予定ですが、それまでの間に移動が困難なお子さんが生じる、実際には現在いらっしゃるという状況もございますので、今回購入を予定するものでございます。</p>
諫 本 委 員	<p>必要に応じてその学校で利用するために購入するということでしょうか。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>その通りでございます。軽車両等に本体を載せて移動すること</p>

<p>教 育 長</p>	<p>も可能でございますので、そのような形で対応したいと考えております。</p> <p>車椅子は、この階段昇降車専用のものでしたね。どの車椅子でも適合するというものではなかったですね。</p>
<p>教 育 総 務 課 長</p>	<p>ある程度の車椅子は対応できます。2ページの真ん中に本体の絵がございますが、このように車輪と背もたれが後ろの面にぴったりと付かないと固定が難しいので、例えばバギータイプであったり、少し背もたれが倒れているようなタイプのものなどは固定が難しいので、誰でも使えるように専用の車椅子を準備するものでございます。もし、ご自身が使っている車椅子が適応できれば、それをそのまま使っていただくことは可能でございます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>教育総務課の補正について、その他ございませんでしょうか。それでは文化財保護課の補正に移りたいと思います。何かご質問等ございますでしょうか。</p>
<p>古 田 委 員</p>	<p>復旧する場所は、現在立ち入り禁止になっているのですか。</p>
<p>文 化 財 保 護 課 長</p>	<p>ホームページにもコーンを置いている写真を掲載して注意喚起を行うなど、危ない状況ですので十分に周知を図っているところではあります。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>その他よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、議案第44号につきましては、原案の通り可決してよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>議案第44号 令和6年度日田市一般会計補正予算教育費及び災害復旧費については、原案の通り可決されました。</p> <p>続きまして、議案第45号についてお願いします。</p>
<p>教 育 総 務 課 課 長</p>	<p>議案集の11ページをお願いいたします。</p> <p>議案第45号 教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書についてでございます。</p> <p>本案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書を作成するものでございます。</p> <p>この報告書は議会に提出するとともに、公表を行うこととされておりまして、報告書の作成から公表までのスケジュールにつき</p>

	<p>ましては、8月定例教育委員会で報告書の原案を決定したのち、9月30日に外部評価員の先生方への説明会を開催し、ご意見等を踏まえ、修正を行った上で、11月定例教育委員会において承認を経て、公表を行う予定でございます。</p> <p>報告書の事務局案につきまして、別冊2の資料により、主な点を説明させていただきます。</p> <p>5ページをお願いいたします。</p> <p>点検及び評価の対象や方法につきましては、昨年度と特に変更はございません。評価基準につきましても変更はなく、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響がある指標につきましては、評価の欄に※印を付けております。</p> <p>本日は時間の都合もございまして、個別の調書の説明は割愛させていただきたいと存じます。</p> <p>次に、指標に対する評価につきましては、別紙の指標一覧表でご説明させていただきます。A4縦の指標一覧表でございます。</p> <p>裏面の一番下になりますけれども、主な取組に対しまして、最大3つの指標を設定し評価をしております。評価指標の合計数は、昨年度同様の48でございます。</p> <p>そのうち、評価Aが20、Bが14、Cが10、Dが4となっております。通し番号の6番と14番につきましては、指標を持っておりませんので斜線としております。</p> <p>報告書の説明につきましては以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ただいま説明のありました議案第45号につきまして、ご質疑等ございませんでしょうか。</p>
古 田 委 員	<p>指標一覧表は、1枚で全部を見ることができてとても分かりやすいと思います。例えば、前年比や前々年比などを加えて、これまでの経緯や、目標に対してどうだったのかなどがあれば、より分かりやすいと思いました。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>ご指摘のとおりかと存じますので、一覧表の横の方に、昨年度の評価を付け足すという形で修正させていただければと思います。</p>
教 育 長	<p>何らかの方法で比較ができるように対応するという事によろしいですね。その他ございませんでしょうか。</p>
木 下 委 員	<p>先ほどの説明の中で、今回も新型コロナウイルス感染症の影響</p>

教育総務課長	<p>がある指標については、※印を付けるという話がございました。</p> <p>４５ページですが、主な取組の(3)スポーツによる交流人口の増加についての指標「スポーツイベント参加者数」の評価が「D」となっておりますが、４６ページの主な取組(3)の成果では、「コロナ禍によるスポーツ活動の自粛の影響等により、スポーツや運動を行う習慣の頻度が減少している」と記載されております。この表現を見ると、評価についても※印が必要ではないかと思われました。</p> <p>それから、５５ページの指標の一番上「史跡咸宜園跡・咸宜園教育研究センター入館者数」の評価については※印が付いておりますが、５０ページの指標「史跡咸宜園跡の来訪者数」は同じ指標になると思うのですけれども、こちらには※印が付いておりません。どちらかに統一した方が良いのではないかと思われました。</p> <p>ご意見をいただいた箇所については、もう一度精査をいたしまして、修正が必要かどうかということも踏まえ、確認させていただきたいと思います。</p>
教 育 長	<p>確認をよろしく申し上げます。その他ございませんでしょうか。</p> <p>では、点検評価の説明会までには再度確認をし、何かお気づきの点がありましたら、また事務局の方までお願いしたいと思います。</p> <p>ご意見をいただきました点に関係各課で再度確認をしていただいて、原案については可決してよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>議案第４５号 教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書については、原案の通り可決されました。</p> <p>次に、議案第４６号について申し上げます。</p>
教育総務課長	<p>議案書の１２ページをお願いいたします。</p> <p>議案第４６号 日田市スクールバスの管理及び運行に関する規則の一部改正についてでございます。</p> <p>本案は、国道３８６号の全面通行止めにより、市道の交通量が増加している地域の通学時の安全性を確保することを目的として、スクールバスの臨時便を運行するため、所要の措置を講ずるものでございます。</p> <p>１４ページをお願いいたします。</p>

	<p>2、改正の内容についてでございます。国道386号の全面通行止めにより、市道の交通量が増加していることはすでにご承知のことと存じます。</p> <p>市道には、片側通行が2箇所あり、通学時の危険性が増している状況であるため、該当箇所を通行する児童生徒を対象に、安全な登下校を確保することを目的として、スクールバス臨時便を運行するにあたり、通常、スクールバスを運行すると定められている小中学校以外においてもバスの運行ができるように改めるものがございます。</p> <p>12ページでございます改正前と改正後の条文を記載した表をご覧ください。下線部が、今回の改正により追加をしようとする部分でございます。</p> <p>第2条に新しく号を追加し、教育委員会が災害、事故その他やむを得ない事情により、公益上必要があると認める場合は、今回のような臨時便の運行が可能になるよう改正を行うものがございます。</p> <p>下線が引いている部分の下から2行目にある「別表に掲げる小中学校」が、先ほどご説明いたしました通常、スクールバスを運行すると定められている小中学校のことを指しております。</p> <p>14ページの真ん中に※印で記載をしております小中学校が、別表に定められている学校でありまして、今回臨時便を運行しようとする光岡小学校と三隈中学校につきましては、ここに記載がないため、条文を追加することで運行が可能になるということになります。</p> <p>15ページをお願いいたします。</p> <p>今回、運行しようとする臨時便の運行期間につきましては、本日令和6年8月26日の2学期始業式の日から、国道386号の全面通行止め解除の日までを予定しております。</p> <p>施行は公布の日からでございますが、本日すでに運行開始しておりますことから、適用は8月26日としております。</p> <p>議案第46号につきましては、以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ただいま説明がありました議案第46号につきまして、ご質疑等はございませんでしょうか。</p>
佐 々 木 委 員	<p>市役所のバスを使うということでしたけれども、子どもたちの保険などは学校の保険か何かを使用されるのですか。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>スクールバスを運行するにあたって、例えば事故などに関しま</p>

<p>教 育 長</p>	<p>しては、他の地域で運行しているスクールバスと同じ対応になります。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>補足がありますか。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>日田市の車体になりますので、自賠責保険は、日田市の保険となります。任意保険につきましては、委託している運行会社が適用する保険で対応させていただきます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>その他ございませんでしょうか。 本日から実際の運行が始まっていますが、該当校や保護者の方から何か連絡等がありましたでしょうか。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>私どもの方には特に伺っておりません。 学校からも連絡がないということは、逆に言えばうまく運行がスタートしたと考えております。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>小学校と中学校なので、登校、登校、下校、部活の下校の4往復ということですか。部活が終わるときと登校するときが一番混み合うと思うので、時刻表など、ご家庭に分かりやすいスケジュールもお渡ししているということですか。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>登校に関しては毎日同じ時間ですので、特にお知らせはしておりませんが、帰りにつきましては、日によって学校行事、例えば中学校ではテストがある日や、小学校でもいろいろな行事がある日など、それぞれ時間が違います。一週間の中でも日によって違いますので、1か月分の運行予定表を保護者の方に、お子さんを通じてお渡ししています。また、運行会社と共有することで、時間を周知するようにしております。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>運行予定表を出しておいて、イレギュラーな部分については各学校で対応、個別の対応ということになりますね。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>今回初めて運行する地域になりますので、保護者の方には大体の目安はこの時間ですというものをお示ししております。 ただ、帰りは日によって違いますので、毎月保護者の方と共有させていただくことで、確実に運行していきたいと考えております。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>安全第一の運行に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>それでは、議案第46号につきましては原案の通り可決してよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>議案第46号 日田市スクールバスの管理及び運行に関する規則の一部改正については、原案の通り可決されました。</p> <p>次に、協議事項について説明をお願いします。</p>
<p>教 育 総 務 課 長</p>	<p>議案集の16ページをお願いいたします。</p> <p>協議事項 表彰選考審査会委員の推薦についてでございます。</p> <p>表彰選考審査会の委員となっております佐々木委員の任期が、本年9月30日をもって満了しますことから、後任の委員の推薦につきまして、市長部局より8月20日付で依頼を受けたところでございます。</p> <p>17ページをお願いいたします。</p> <p>根拠条例を掲載しておりますけれども、第2条に規定しておりますとおり、表彰選考審査会は、市政功労者及び善行者の候補者選考について、市長の諮問に応じ、調査審議するために設置するものでございます。</p> <p>任期につきましては、日田市表彰条例第4条に基づき1年間となっております。令和6年10月1日から令和7年9月30日まででございます。</p> <p>17ページの下に現在の委員名を掲載しております。</p> <p>教育委員会から1名の推薦依頼でございますので、佐々木美德委員の後任の推薦についてご協議をお願いいたします。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ただいまの説明のとおり、表彰選考審査会委員の推薦を依頼されているということですが、どなたかご推薦いただければと思います。いかがでしょうか。</p>
<p>木 下 委 員</p>	<p>表彰選考審査会委員につきましては、事前に教育委員で協議しました結果、佐々木委員に引き続きお願いしたいと思います。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>佐々木委員はいかがでしょうか。</p>
<p>佐 々 木 委 員</p>	<p>はい、お受けいたします。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ご了承いただきましたので、引き続き佐々木委員を推薦したいと思います。よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p>

<p>事務局</p>	<p>では、事務局の方で推薦の手続きをお願いいたします。 次に、報告事項について説明をお願いします。 まず、報告第14号からお願いします。</p> <p>議案集の18ページをお願いいたします。 報告第14号 令和6年7月期寄付採納についてでございます。</p> <p>地区寄附の採納が1団体1名2件でございます。1件目が大宮町の城全様から東部中学校へ、熱中症対策をはじめ教育活動に役立てて欲しいということで、冷凍庫1台、4万8,400円相当のご寄附をいただいております。寄附者につきましては、東部中学校第22回卒業生有志の方々ということで、その方々を代表して城全様のお名前という形になっております。</p> <p>2件目が北部中学校育友会様から北部中学校へ、3年生が使用する冷水機がないため、新たに冷水機1台、25万1,900円相当のご寄附をいただいております。</p> <p>7月につきましては、以上2件、物品相当額30万300円のご寄附をいただいております。</p> <p>報告第14号につきましては、以上でございます。</p>
<p>教育長 学校教育課長</p>	<p>続けて、報告第15号についてお願いします。</p> <p>報告第15号と報告第16号につきましては、今後の取組が共通するものでございますので、一括して報告させていただきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは報告第15号 令和6年度全国学力学習状況調査結果について、及び報告第16号 令和6年度大分県学力定着状況調査結果についてご報告いたします。</p> <p>別冊3の報告第15号 令和6年度全国学力学習状況調査結果をお願いいたします。</p> <p>1ページです。調査の概要ですが、本年度の全国調査は、4月18日木曜日に実施しております。調査の対象学年は、市内小学校6年生499名、市内中学校3年生475名となっております。</p> <p>調査の内容につきましては、ご覧のような教科に加えて、質問調査を行っております。</p> <p>具体的な内容につきましては(4)にありますが、教科の学習については、知識と活用を一体的に問う問題、質問調査につきましては、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関するアン</p>

ケート調査となっております。

この後説明していく際の用語についてでございますが、正答率というのは、全設問に対して児童生徒が正答した割合、平均点という意味合いをイメージしていただければよろしいかと思えます。それから全国比というのは、全国の平均正答率を100と見たときの日田市の割合であり、全国比で100が全国平均という見方をしていただければよろしいと思えます。

2、結果の概要です。

小学校6年生につきましては、国語は全国平均、算数は全国平均をわずかに下回り、全国比はそれぞれ100、98となっております。

中学校3年生は国語、数学につきましては、全国を下回る結果となっており、全国比として90、80となっております。

この学年については、小学校6年生の全国調査において、国語、算数の全国比が98、96という数値であり、改めて課題が明らかとなり、特に数学は厳しい結果となっております。

2ページをお願いします。

小学校6年生、中学校3年生の過去5年間の平均正答率の全国比の推移を載せております。小学校6年生につきましては、昨年度からやや上昇、中学校3年生につきましては、昨年度と比較し、大きく下降しております。中学校は令和元年度以降、下降傾向が続いているため、全体的な対策を講じていく必要がございます。

3ページをお願いいたします。

令和6年度現在の中学校3年生について、小学校6年生からの結果の推移を分析したものでございますが、一番上と一番下は全国調査ですので、偏差値ではなく、全国比で表しております。真ん中の3つは、市の調査結果及び大分県調査を並べておりますので、偏差値を示しております。網掛けが全国平均以上となります。

中学校1年生の日田市調査でやや盛り返したものの、以降は全国平均の網掛けが減少しました。今後は、受験を控えているため、進路実現のための個別支援が求められると考えております。

4ページをお願いします。

児童生徒のアンケート調査です。色を付けた部分が全国値より5ポイント以上、上回っている箇所、逆に黒い太枠は、全国値よりも5ポイント以上、下回っている箇所を示しております。

4ページ(1)の上から3つ目「社会に対する意識・地域との関わり」のうち、質問項目で「地域や社会を良くするために何かして

みたいと思いますか」という数値ですけれども、小中とも大分県、全国を上回っており、特に中学校3年生は大きく上回っております。こういったところは日田市の子どもの良さであると思っておりますし、コミュニティ・スクールも全校で導入しています。委員の皆様からも地域の方々の活用を考えてみてはどうかというご意見もいただいております。地域との結びつきは日田の子どもの大きな武器であり、強みであると考えているところです。

4ページ下段から5ページは、教科の学習に関する意欲等の回答状況です。小学校6年生は国語、算数、英語について、教科の勉強が好きかどうかの質問に対して、全国を5ポイント以上、上回っている網掛け箇所が多く見られます。

教科の勉強は大切だと思う、よく分かる等の内容も、青い網掛けが付いていなくても全国を上回る、又は同程度のものが多いという結果でした。

一方で、中学校3年生は青い網掛けが少なく、全国よりも5ポイント以上少ない太い枠が多く目立っております。特に英語では、その傾向が顕著に見られました。

6ページをお願いします。

授業改善、学習指導に関する質問ですが、小学校6年生は全国と同程度、中学校3年生は全国を下回る傾向です。中学校の場合は、後程大分県調査でも報告をしますが、学習に対する意欲の低さ、授業に対する意識の低さが課題となっており、中学校の授業改善は、これまで同様、大きな課題となっております。

6ページのクロス集計についてでございます。

このクロス集計は、教科の正答率と生活の様子の関連を調べたものです。

例えば6ページ真ん中の表「①朝食を食べる割合と平均正答率の関係」ですが、小中学校とも毎日朝食を食べていると回答した児童生徒は、朝食を全く食べていないと回答した児童生徒に比べて平均正答率が高い傾向がありました。

「②1日当たりのゲーム時間と平均正答率の関係」においても、ゲーム時間が1時間未満や全くしないと回答した児童生徒ほど正答率が高くなる傾向でした。

やはり、基本的な生活習慣と学力の定着状況には相関があると考えられることから、今後、基本的な生活習慣の確立に向け、家庭との連携が重要になってくるということも改めて感じたところでございます。

7ページの現状と分析につきましては、先ほど報告したことが主となっております。小学校6年生は学力定着状況、意欲等は全

国と同程度、中学校3年生は学力定着状況、意欲の面でも全国と比較した場合、課題があったという結果でありました。

繰り返しになりますが、中学校3年生については受験を控えております。一人一人の進路に向けた取組というものを今後も学校へ指導、支援を続けてまいります。

最後に8ページから9ページの今後の取組ですが、次に報告いたします県調査でも同様の内容がございますので、そちらでまとめて報告させていただきます。

全国調査については以上でございます。

続いて、別冊4、報告第16号 令和6年度大分県学力定着状況調査結果について報告いたします。

1ページをお願いいたします。

調査の概要ですが、今年度は4月23日に実施し、調査対象学年は、市内小学校5年生438名、市内中学校2年生548名となっております。

内容につきましては、教科の学習到達度調査がご覧のような教科で、全国調査と同様、質問紙調査も行われております。

用語の説明ですが、県調査は全国調査と異なり偏差値で示しておりますので、概ね50であれば、全国平均並みとご認識ください。

調査結果につきまして、まず小学校5年生です。国語、算数、理科の教科全体、また、知識や活用といった項目すべてにおいて、全国平均を超えており、県の平均とほぼ同程度という状況でございます。

次に、中学校2年生です。国語、社会、数学については全国と同程度となっておりますが、理科、英語については、全国を下回る結果で、県の平均と比較した場合、すべての教科が下回っており、特に英語に課題が見られる結果となりました。

2ページをお願いいたします。

小学校5年生、中学校2年生の過去5年間の偏差値の推移です。小学校は毎年度、安定した推移が続いている状況でございます。中学校2年生は、昨年度より回復傾向ではありますが、年々50を下回る教科が増えている傾向でございます。

先ほど報告いたしました全国調査とあわせて、日田市は問題の難易度が上がっていく小学校6年生ぐらいから中学校にかけて、少しずつ学力の定着状況に差が生じてきているという課題が見られる状況にあると考えております。

3ページをお願いいたします。

小学校5年生と中学校2年生で、網掛け部分が全国値以上と

なっております。

まず、上段の「自己認識・社会性等」についてです。

小学校5年生の方が網掛け箇所が多く見られ、自己肯定感や「夢や目標がある」、規範意識に関する質問などで全国を上回っております。

中学校2年生については、認められているということや自分にいいところがあるという質問に対する肯定率が若干低いことが気になります。

指標の下から2番目「お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加していますか」という質問については、かなりの割合で県平均と全国平均を超えておりますので、地域との連携ができているという、日田市の子どもたちの共通する強みはこの学年でも見られているということでもあります。

上段の表の一番下の項目「クラスの人がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがありますか」という問いをご覧ください。

数値が高いほど良好な状況となりますが、昨年度の中学校2年生、現在の中学校3年生は、同じ質問項目で「ない」「ほとんどない」と回答した生徒は30%台だったという状況がございます。今年度の中学校2年生は48.4%で全国値以上であり、中学校1年生時に受けてきた授業は、比較的落ち着いた空間でなされていたと考えられます。

次に、3ページ下段の「生活習慣・家庭での学習習慣」に関する調査です。全国調査と同じような調査がこの中にもございます。

朝食を食べる等の生活習慣や家庭での学習習慣、ゲームやインターネットの使用時間等で、日田市や大分県は全国よりも低い回答状況となっております。

特に、表の一番下の質問をご覧ください。テレビや動画、インターネットでのゲーム時間が2時間未満の割合が出ています。

中学校2年生は12.8%となっており、10人のうち9人程度は1日2時間以上、ゲームやインターネット等をしているという結果となっております。

1日のスマホやゲームをする時間の長さや、家庭での学習時間の少なさ、3ページ下段の表の質問項目の71番や73番、ここが日田市が大分県よりもかなり低い数値になっています。これは1日のスマホやゲームの時間等々がやはり関連していると考えられます。

メディアとの付き合い方、メディアコントロールというのは今

後の家庭学習の鍵となっていきますので、家庭との連携が重要になってくると考えております。

4ページをお願いいたします。

上段の表は、教科に関することが好きか、又は分かっているか等を聞いたものです。大分県に比べて小学校は高い傾向にありますが、中学校では逆に低くなっていくという傾向でございます。

下の表の授業での学習状況についても、小学校5年生は全国よりも高く、中学校2年生は全国を下回る傾向は、同様でございます。

全国調査の結果及び中学校2年生の結果から、「わかる」「できた」が実感できる授業の推進により、「教科が好き」「勉強が分かった」という生徒を育成していくことは必須であり、小学校後半から中学校にかけての授業改善に向けた取組は、今後も不可欠であると考えております。

下段の表の上から2段目の赤い太枠囲みをご覧ください。

小学校5年生も中学校2年生も共通して、最後まで諦めないという意識については、全国平均を超えております。

学習の基本として、先生方の地道な指導の努力と、子どもの粘り強さという部分、この意識の向上が見られる部分であると評価しています。この良さを生かして、2学期からの授業改善にも取り組んでいきたいと考えているところです。

5ページをお願いします。

小学校における成果と課題について、一覧表にまとめて学校にも提示しているところです。

6ページをお願いいたします。

中学校についても同様に、成果と課題を抜き出し、日田市の傾向を学校に示しているところです。

7ページをお願いいたします。

全国調査と共通して、今後の取組について説明を申し上げます。取組は、大きく(1)から(5)までございます。

まず(1)として、本調査を受けて全学校で取り組むことを①から③で示しております。

はじめに①ですが、学校は誰が正答率が低く、授業で困っているのかを明確に掴み、その子どもたちが「わかった」「できた」と思える授業づくりを推進することを取組としています。

現在の日田市の中学生は、低学力層と言われる生徒が多いことから、この低学力層の生徒にターゲットを明確に絞って、この子どもたちが授業が終わった後に、「わかった」「できた」ということが言えるような授業改善を行うこととしています。

<p>教 育 長</p>	<p>②については、A Iドリルを活用し、授業だけでは定着が不十分な児童生徒、逆に授業だけでは物足りない児童生徒に対して、復習や予習に取り組みさせる、いわゆるA Iドリルを活用した個別最適な学習の推進でございます。</p> <p>A Iドリルを組織的に活用した学校の正答率は向上している傾向にありますので、市教委としても積極的にA Iドリルは活用してまいりたいと考えております。</p> <p>③については、家庭や地域との連携です。</p> <p>先日、市長に報告に行った際も「学校だけの取組では解決できないことは、家庭や地域の力を借りていくという視点が必要だ」というお話がありました。</p> <p>子どもの学校の現状を把握していただき、家庭や地域に協力を依頼することが大切であると考えます。学校任せにするのではなく、市教委としても全学校で開催される保護者や地域の代表が参加する学力向上会議へ指導主事が参加し、家庭や地域への協力を呼びかけていきたいと考えています。</p> <p>8ページには(2)から(5)までの取組を記載しておりますが、これまでと違う取組として、(3)、(4)について少し説明いたします。</p> <p>(3)は、これまで集合型として学期に1回程度行っておりました学校の代表を集めた研究主任会、これをオンライン開催にすることで、イベント的なものではなく、短時間かつ回数を増やすことで、他の学校の事例の共有であるとか、市の取組の徹底を図っていききたいと考えております。</p> <p>(4)については、特に中学校の調査において、良い結果が継続している自治体の施策や実際の授業を参考にすることで、日田市と何が違うのか、日田市に取り入れられるものはないのか等の視点から、他市町村に学んでいきたいと考えております。</p> <p>二つの調査を受けて見えてきた課題について、(1)から(5)の取組を行いながら、学校現場を指導、支援していくことにしております。</p> <p>報告については以上でございます。</p> <p>大きく二つの報告がございました。</p> <p>まず、報告第14号 7月期の寄付採納について、何かご質疑等ございますでしょうか。</p> <p>2件のご寄附ありがとうございました。</p> <p>それでは、報告の第15号と第16号について、ご質疑等がございましたでしょうか。</p>
--------------	--

荒川委員	<p>別冊4の3ページについて、二つ質問があります。</p> <p>まず、73番の「学校の授業の予習や復習をしていますか」という質問の35.5というのはかなり低いと思うのですが、これは宿題以外で、自分で学習するということなのでしょう。</p>
学校教育課長	<p>質問の文言がこのようになっておりますので、生徒によっては、宿題であったり、宿題以外で捉えている生徒もいるかと思えます。どちらかと言えば、宿題も宿題以外も含めてという質問になっていると認識しております。</p>
荒川委員	<p>もう一つはゲームですけれど、大分県でも21.5であるのに、日田市は12.8ということですね。倍の時間をゲームに費やしているということは、多分、親の躰ということが主だと思のですが、このことに対して学校から何かアプローチ、家庭に対してアプローチということは行ってきたのでしょうか。</p>
学校教育課長	<p>学校から家庭に対する啓発は、学校だよりや保健だよりなどで行っています。昨年度も同じような数値で、毎年この部分は日田市の課題となっている数値でありますので、こういった数値を取り上げて、家庭にこのような状況を啓発した後に、協力を依頼していくことは続けております。</p> <p>実際に学校運営協議会等では、この数値をそのまま出して、地域の方々や家庭に考えていただきながら、育友会等で何かできないかということで、育友会でノーメディアデー等に取り組んでいる学校も幾つかございます。</p>
荒川委員	<p>説明いただいた中で、個人的には、子どもたち個々の体と頭の栄養が必要であると思えます。</p> <p>別冊4の4ページの学習状況に、「あなたは、ものごとを最後まであきらめずにやりぬく方ですか」と質問があるのは、我慢する、ゲームをしたいけれどもやらなければならないことを先にやる、宿題は自分のためにやるんだよという、家庭で教育しなければ難しいだろうなということと、先日、高校の先生の採用試験に出席したときに、志願者の方々が全員言っていたのが「自分は恩師のようになりたい。そして、地域に還元したい」と、もう一つ言っていたのは、「絶対に見捨てない教育をする」と全員がおっしゃっていたんです。</p> <p>やはり、個々でも頑張っていたかなければいけないし、英語や数学が低迷しているということは、基礎からもう1回学ばな</p>

<p>教 育 長</p>	<p>ればいけない子がいるということで、そうすると一人の先生だけの対応では無理で、AIドリルを使っていく必要もある。もしくは放課後に誰かサポートが必要になる。やはり見捨てないということがすごく鍵かなと思いました。</p> <p>先生方も我慢して、続けて、成果が出るまでやるということが、とても単純ですけど、頑張らなければいけないところかなと思いました。</p> <p>今回の結果で特徴的と思っているのが、県のホームページなどを見ていただくと分かるのですが、他市町の結果が随分上昇してきていると私は見ました。</p> <p>そのような中で日田市のあまり好ましくない特徴が出ているということについては、まだまだいろいろな分析が必要だろうと思っております、他市町にも教員の入れ替わりはある訳ですから、どのような取組がなされていて、日田市の取組とどこが違うのか、また同じなのになぜこうなのかという分析が要るのではと感じているところです。</p> <p>その他、どこからでもご質問ございませんでしょうか。</p>
<p>荒 川 委 員</p>	<p>他市町に視察に行く場合は、先生方をお連れになるのか、もしくは私たちも行くのか、その辺のアイデアはありますか。</p>
<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>10月に市の公開研究会がありますので、その機会をとらえて、私たち学校教育課の職員と、今考えているのはそこで行われる授業の教科の先生方に声を掛けて、何人かで一緒にチーム日田で行きたいと思っております。</p>
<p>佐 々 木 委 員</p>	<p>先ほどゲームの話があったのですが、ゲームの時間や朝食の話は結構ショックだと思えます。実際の数字を見たら、保護者が子どもと一緒にゲームをしていないか、多分保護者がゲームをしていれば、子どもも「して良い」と思うと思えます。親がずっとゲームをしていれば、子どもも一緒にゲームをして、「これでいいんだ」と思って、一緒に楽しむことはいいことですが、この結果があれば、結構ショックだと思えますよね。それで保護者の方に、「どのくらいゲームをしていますか」ということを聞いてみてもいいのではないかと。先生たちも限界があるし、働き方改革もあるので、ここまでになると保護者と家庭が相当協力しないと上昇していかないのではないかと思います。</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>学力向上会議に学校教育課の職員が参加をしておりますので、そこでそういう話題になったときには、育友会の中でも、学校が主体というよりも育友会として、そういった調査をしてみるというのは面白い調査かなど、今感じたところであります。</p>
<p>荒川委員</p>	<p>ゲームもですけど、就寝時間のアンケートはどうでしょう。親御さんの早寝早起き、朝ご飯。聞いてみるのもいいかなと思います。お父さん、お母さん向けのアンケートを柔らかい感じでやってみたらいかがでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>柔らかい質問項目を考えながら、あまり赤裸々なものになるとプライバシーの侵害ということも出てこようかと思いますが、やはり必要な意識の向上のための必要な調査として、質問も絞っていきながら、保護者の実態とか、子どもと一緒にできるようなものは何かないか、探っていきたいと思っております。</p>
<p>教育長</p>	<p>4月から校長先生方をお願いしているのは、当事者意識をしっかりと持たないといけないのではないかとということで、学習する主体は子どもたちですから、子どもたちにも学ぶということは、非常に大事なことだということをしっかりと説いていかなければいけないだろうし、そのためには先生方との信頼関係も必要だから、先生方はなぜ他市町と違うのかという、当事者意識を持っていたかかないといけない。それから今話題に出た、保護者の方々にもやはり自分の子どものことだから、保護者としても当事者意識を持っていただく。</p> <p>このための取組を学校運営協議会などでやってきているはずなのでですけども、もう一度、きちんとしたデータとしてお返しをして、自分たちも振り返るけれども、それぞれが取組の主体として振り返っていただくことをきっちりやって欲しいということ、4月から校長会を通じて申し上げてきたところなので、2学期もそういったことについては、繰り返し訴えかけていこうと思っているところでございます。</p>
<p>古田委員</p>	<p>これを見ても課題は明らかで、子どもにとってやりなさい、やりなさいと言われる勉強は、勉強ではないと思うから、メディアコントロール、それからルールを作るという教育も親として協力しないといけないと本当に思いました。</p> <p>小学校のときに丸付けが大変だからと親が言って、宿題が減っ</p>

<p>学 校 教 育 課 長</p>	<p>たことがあったのですけれども、そういう一人の親の意見を大きな意見として捉えずに、頑とする先生方の姿勢も大事にして欲しいと思いました。</p> <p>それと、7ページの青山学院大学の教授の言葉というのは、日田市に対しての言葉なのですか。</p> <p>青山学院大学教授の言葉は、大分県の全国調査があったとき、その時の活用のための講義の中であった言葉です。</p>
<p>古 田 委 員</p>	<p>どれもその通りだなと思ったので、他市町村に学ぶ取組も大いにやっていただきたいと思いました。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>それでは、この件についてはよろしいでしょうか。</p> <p>引き続き注視して、いろいろなご意見、ご質問をいただきたいと思います。</p> <p>報告につきましては以上となります。</p> <p>その他についてお願いします。</p>
<p>教 育 総 務 課 長</p>	<p>次回の定例教育委員会の日程についてでございます。</p> <p>9月期の定例教育委員会は、9月27日金曜日、13時から勉強会、15時から定例教育委員会をお願いしたいと思います。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>9月期定例教育委員会の日程は、ただいま説明のとおり、9月27日金曜日ということでございますがよろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」と呼ぶ者あり)</p> <p>それではそのようにお願いいたします。</p> <p>その他、何かございませんでしょうか。ないようでございますので、以上で8月定例教育委員会を閉会いたします。</p> <p>大変お疲れさまでした。</p> <p style="text-align: right;">終了時刻：午後4時22分</p>